

# 立花中だより

強く 正しく 優しく

校長 尾知山光郎

## 皆勤賞

入学以来一日も休まず遅れず授業に出席し続けた生徒の努力を讃え、表彰しました。

皆勤は、本人の努力はもちろん、保護者の相当なご協力が必要です。敬意を表し、感謝いたします。

(学級順) 小松原 裕斗 清水 芽唯 鍛示 笑香 北之防 彩斗 村田 万里耶  
西谷 采恵 前田 健太郎 田村 陸 照岡 颯太 昌 琴音

## 3年生の「振り返り」

70期生の多くは入学時の学力に課題があり、かなり努力し全国平均以上の力を付けてきました。しかし、思考力・判断力・表現力など「知識を活用する学力」を高める必要を感じました。そこで、「話をよく聴き考える力、自分の言葉で表現する力」を高めるために今年度取り組んだのが、全校朝礼後の「講話の振り返り」です。最後（2月19日）の朝礼後に書かれた文章の一部を紹介します。最後の話のキーワードは「大人になるための『自制心』『修正力』」でした。（漢字・かなの使い方は、原文のままです）

A) 「テストが返ってきて、そのままにいませんか？」私はその一言にドキッとしました。学校生活をふり返ってみると、たくさんの「失敗」がありました。テストが返ってきてそのままにしたり、同じミスを何回も繰り返すといった事です。この経験と今日の講話を聴いて、「失敗を修正する力」が必要になると改めて強く思いました。なので、今日の講話で学んだ「自制心の大切さ」「失敗を修正する力」を残りの中学校生活、また、これからの高校生活で生かしていきたいと思います。

B) 嬉しいときに嬉しいと言うことが悪いのではなく、自分が勝つ、受かるということは、誰かが負ける、落ちるということだと理解し、周りの人のことを考え行動することが大切だと思った。私は明日、2月受検の結果を知ることになるけれど、受かっていても落ちていても自分の気持ちをコントロールすることを気をつけていきたい。

C) 自分の感情や行動をコントロールすることは、スポーツでも普段の生活に必要なことだと思います。自分で自分をコントロールしなければ、社会に出ても駄目な人間になってしまうから、自分のことを一番分かっている自らがしっかりすることが大切だと思います。

D) 今までの話の中で、私は部活などにおきかえたり、勉強のこととしてきいていたりしていたので、私は部活の中や勉強の中で修正をくりかえして反応してきました。今までの話をこれからにつなげられたらと思いました。

E) 人間は誰でも失敗はあると思うけど、その後の反省も大切だと思った。また、周りに迷惑をかけてしまったら、謝るということも大切だと思う。失敗したら、自分がはずかしくなったりして、周りに迷惑をかけても謝れない事があるかも知れないが、謝れない方がはずかしいと思う。そういう人間にならないように心がけていきたい。

F) 僕は今日校長先生の話聞いて、「反省」という言葉がとても印象に残ったので、1年間の反省を書かせていただきます。今年僕は受験生となり、人のために頑張る大切さ、仲間の大切さをたくさん学びました。しかし、自分の甘い心に負けて、勉強時間がとても少ない日がたくさんありました。みんなと協力して頑張るという大切さを学んだのに、自分が自分に負けてしまったことが、僕の1年間を通しての反省です。

G) 私は反省することが次の成功につながると思います。すいせんが終わって、全く実力が発揮できませんでした。それは自分の努力不足だと反省し、一般の勉強に取り組んでいます。反省することは大切ですが終わったことを引きずるのもあまりよくないので、切り替えを心がけています。

H) 校長先生でも反省することがあるのなら生徒である僕達の生活の中にはもっと反省すべき点があるのではないかと思いました。テストだけでなく自分がいつも行動していることにも見直す点を探していきたいです。

I) いよいよ公立入試も目の前となってきて、勉強にも力が入っていますが、たくさん問題を解くことはもちろん、間違えた問題をしっかりと見直して次は間違わないように修正していくことが大切だと思いました。また、普段生活している中でも一つ一つの行いに注意し、修正してより良くしていきたいと思っています。

J) もうすぐ卒業です。テストの見直しは赤で直すだけで適当にやってしまったことを後悔しています。解説などを見てしっかりとやり直していたらもう少し早く力がついていたと思います。なのでそれを受験勉強でやるようにしています。高校生になっても続けていこうと思います。1年間たくさん話ありがとうございました。

K) 反省することだけでなく、そこから修正することがとても大切だと改めて感じました。反省と修正の材料は人だったりもするので、そこから人がつながるような気がしました。1年間、大人になるための話をたくさんして下さり本当にありがとうございました。

L) 振り返りの季節がやってきて思い出したのが、部活動引退の時です。中1、中2は反省して次に活かして行けるけど中3のあのタイミングで反省をしても部活動において修正することができなくて。そう思うと時間はあっという間で失敗する事や不安になることはすばらしいなって思ったりしました。だからこそ後輩に伝えたいのは失敗を恐れずに挑戦し、悔いの残らない部活動だったり学校生活にしてほしいです。

M) 今までの校長先生の話は、ほんとうにためになりました。勉強面や友達関係、自分のことについてなどさまざまな角度から考えさせられました!!今回が最後の朝会だということを知りました。今までの校長先生の話これから高校生活に役だてていけたらいいなと思っています。

N) 今日の先生のお話を聞いて最初に思ったことは「失敗をすることは決してダメなことではないし、その後にはほったらかしにするのか、反省し改善をするか」でそれ以降のことやその人が信頼されるか、されないかが決まってくるのだと思いました。なので、失敗をしてしまってもウジウジせず「次は成功するように」と前を向いて頑張ろうと思いました。1年間という短い期間でしたが、ありがとうございました。校長先生のお話で勉強や部活につまずいていた時など、何度も励まされ助けられました。推薦をいただく際の面接でもお世話になり、本当にたくさんのお話を学ぶことができました。推薦入試も終わり結果を待っている状態ですが、悔いなく終わったので合格なら4月の新しい生活に向けて、残念ながら不合格なら一般入試に向けてより一層頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

「強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生」をめざして成長した176名を、明日、送り出します。